

# 一般質問通告書

令和 7 年 6 月 3 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 14 番 藍原 章

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁  
② 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号1) 発言事項	高島市の観光危機管理の充実について
要旨	<p>国内に多くの観光地を有するわが国にとって、観光業は主要産業となっている。また、政府は本年2025年の大阪・関西万博を好機と捉え、年間の外国人観光客を4千万人まで増やすことを目標とし「観光立国」の実現を目指しています。</p> <p>こうした中であって、過去には2018年9月の台風21号の上陸や北海道胆振東部地震で大きな被害が発生し、関西空港や、新千歳空港が一時閉鎖され、札幌市内のホテルではブラックアウトによる停電等で観光客に大きな影響が出ました。また、昨年2024年1月1日の能登半島地震では、外国人観光客が滞在先で足止めされたり、避難を余儀無くされたりしたケースがありました。特に、奥能登地域は外国人技能実習生も多く暮らしており、地域と外国人とのつながりは必ずしも強くない状況でしたが、被災した外国人観光客の支援も行われました。</p> <p>とりわけ外国人観光客にとっては、多言語での災害・交通・非難情報が十分でないなど、災害時の対応に大きな課題を残しました。</p>

災害の多い我が国においては、観光の危機管理は重要で、各自治体における観光客（外国人観光客を含む）に対する防災や、災害時の支援体制などを確認しなければならない。そこで市に問います。

① 「地域防災計画」に、観光旅行者に対する避難場所・避難経路などの計画が定められているか。

② 「地域防災計画」に、外国人観光客への情報伝達に関する事項が整備されているか。

- ・ 災害情報の多言語化（多言語標識・通訳ボランティアの整備など）

- ・ 県や政令市等での「災害関連情報の多言語メール配信システム」の整備

- ・ 外国人観光客に対する避難所の運営

- ・ 関係機関や関係団体との連携（領事館を含む）

③ 災害時におけるホテル協会や旅館組合との協定は出来ているか。

④ 市が管理している観光関連施設の耐震化はどのようになっているか。